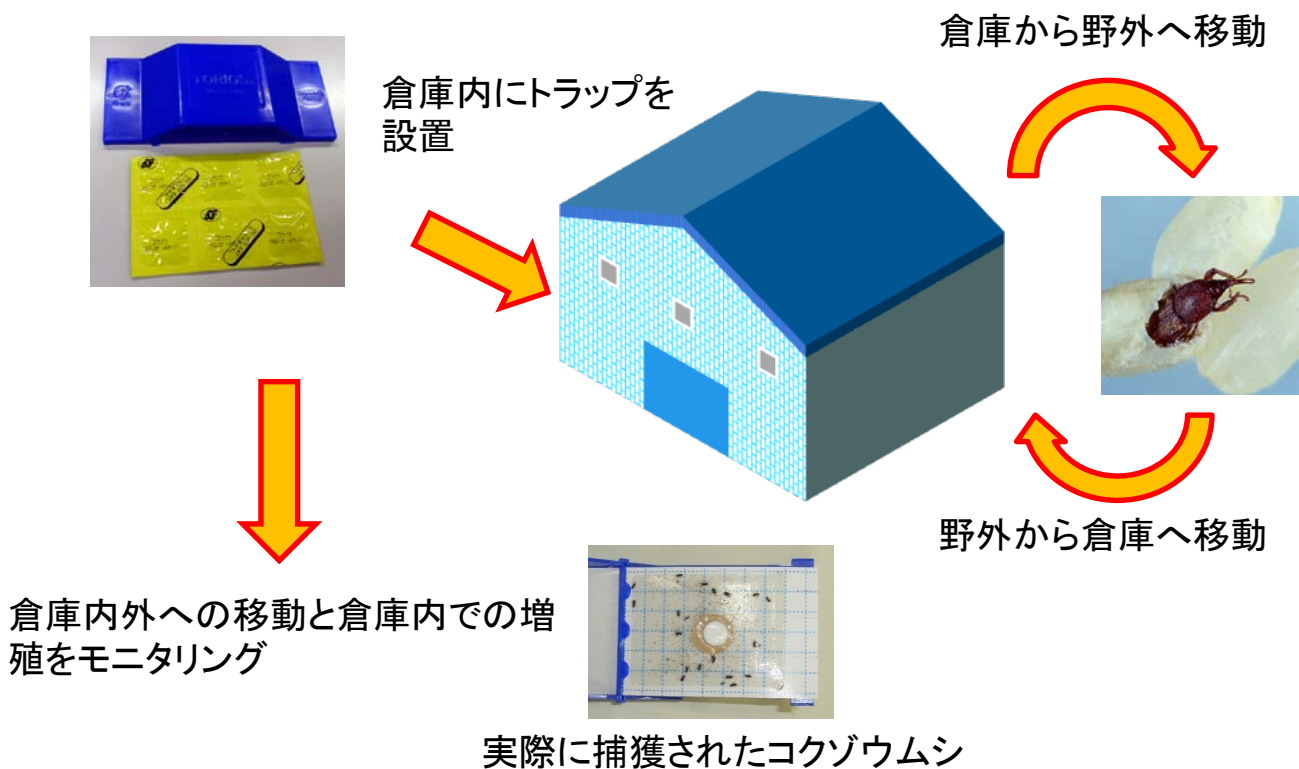


玄米貯蔵施設におけるコクゾウムシの モニタリング

技術の特徴

- ・穀物貯蔵倉庫でコクゾウムシを中心とした貯蔵食品害虫が発生がみられる。
- ・貯蔵食品害虫を効果的に防除し、被害を防ぐためには、その発生をモニタリングする必要がある。
- ・モニタリングには「トラップ」を用いるが、誘引剤としてフェロモン(コクゾウムシの場合は集合フェロモン)を用いるフェロモントラップで安定してモニタリングできる可能性がある。

研究の内容



今後の展開

モニタリングの高度化とともに効果的な防除システムの考案も目指したい。

参 考

- 今村太郎ら(2014)穀物乾燥調製・貯蔵施設における玄米ベイトトラップによる貯穀害虫およびその天敵相の調査. 食品総合研究所報告 (78), 1-9
- 松阪守ら(2009)玄米貯蔵倉庫における貯穀害虫の季節的変動について. 家屋害虫 31(1), 27-36